

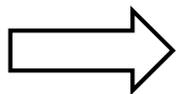
京都市

「歩くまち・京都」をテーマとしたバリアフリーのまちづくり

●重点整備地区の移動等円滑化基本構想の策定と多部局連携による継続改善
36駅の重点整備地区「移動等円滑化基本構想」を策定。継続改善の仕組みが17年間で確立されており今後もさらに拡大・発展することが期待される。

●人と公共交通優先の「歩いて楽しい四条通」歩道拡幅事業

歩道の拡幅とバス停の一体的な整備等により、快適でバリアフリーな歩行空間の創出と公共交通の利便性向上を両立させた。



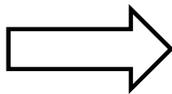
四条通整備前



四条通整備後

●使いやすく、人にやさしい京都の玄関口を目指した「京都駅八条口」の整備

「京都駅八条口駅前広場整備事業」により、快適な歩行空間の創出や公共交通の乗継利便性の向上など、誰もが安全で快適に歩きやすい歩行者空間の創出を実現。



京都駅八条口整備前

京都駅八条口整備後

●心のバリアフリーを目的としたハンドブック作成と周知

ソフト対策として、市民がお互いに理解し、支え合う「心のバリアフリー」を推進。「心のバリアフリー」ハンドブックを作成し、理解を深めるための講演等も行っている。

第12回 国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰 ～表彰者の取組概要～

宮崎空港ビル株式会社 三菱重工交通機器エンジニアリング株式会社

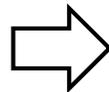
小型機対応の旅客搭乗橋の開発と日本初の導入

●日本初の小型機対応旅客搭乗橋「ひなたらくちんブリッジ」の開発・新設

これまで100人乗り未満の小型機では、雨の中一旦地上に降りて徒歩やバスで移動となっていたが、研究開発を進めた結果、日本初となる小型機対応旅客搭乗橋が完成し、高齢者や体の不自由な方の不便を解消し、利便性を高めることが出来た。



小型機対応旅客搭乗橋運用前



小型機対応旅客搭乗橋運用後

●地方空港整備の模範となるバリアフリー、ユニバーサルデザイン整備の積極的な推進

多目的トイレについて館内に13か所設置しているなどバリアフリー整備の推進を行っている。また、空港内各室も誰にも親しめる空間デザインに努めており、特に授乳室のインテリアは個性あふれるオリジナルデザインを積極的に展開した。



多目的トイレ



授乳室